



私たちの身近なケーブルテレビ局

MIT 真庭いきいきテレビ ～魅力を再発見!!～

平成29年1月1日で、開局9周年を迎えた真庭いきいきテレビ（以下、「MIT」）。市内の各地域の皆さんの笑顔をつなぐ架け橋として、日々市内の情報を伝えています。今回はMITの取材や番組収録などの様子取材しました。MITスタッフの裏話とともに魅力をあらためて紹介します。



MITマスコットキャラクター みとすけ



真庭の

「今」を伝えます

(公財)真庭エスパス文化振興財団が指定管理者として運営しているMITの現状や番組作りへの思いなど報道制作課 濱本裕子課長にお話を聞きました。

久世地域から
真庭のケーブルテレビ局へ

MITの
加入率は約70%

MIT開局前、山間部の多い真庭市では、各家庭でアンテナを上げてもテレビが見えない地域が多く、約6割の家庭が「共聴組合」に入り、共同アンテナを通してテレビを見ていました。しかし、平成23年7月24日のアナログ放送終了に伴いテレビが見られなくなることを解消する必要がでてきたこと、また、合併で広域になった真庭市の一体感を醸成することを目的に、平成21年1月1日から、市内全域に整備した「真庭ひかりネットワーク」を活用し、旧久世町で放送していた「テレビくせ放送協会(KHK)」のエリアを市内全域に広げ、放送を始めました。



真庭市鍋屋にあるMIT局舎

MITの加入率は開局当時からほぼ変わらず、約70%で推移しており、平成29年1月1日現在1万3043件(73.0%)の方に加入いただいています。

私たちも、市民の皆さんと一緒に頑張っていきます



(公財)真庭エスパス文化振興財団
報道制作課 濱本 裕子 課長

中継車を活用して 生中継を実施

平成28年4月からは、真庭市が新たに導入した中継車を活用し、積極的に生中継を行っています。昨年は、久世祭りや北房のイルミネーション、最近では、真庭市成人式の式典の様子を初めて生中継

地域と地域をつなぎ 一つの「まち」の意識を

を行いました。これからも、さまざまな行事やイベント会場から生中継を行っていきまのでぜひお楽しみください。

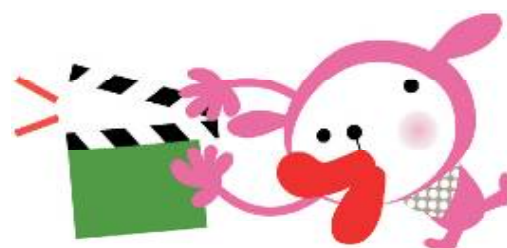
私たちが番組を作るときに心がけているのは、例えば蒜山の人が北房を、北房の人が蒜山をより身近に感じてもらえるように情報をお伝えすること。また、各地で開催されるイベントなどを周知する際は、市内の皆さんが行ってみたいと思っただけに、そして実際に外かけて、市内で交流が盛んになるよう

少しでもお役に立ちたいという気持ちで番組を作っています。これからも、市民の皆さんが頑張っている姿やいいなと思っもらえる取り組みなどをしっかり紹介していきたいと思っています。また、MITでは有料にはなりませんが記録映像の作成を請け負っています。後世のために残しておきたい地域の行事や風景などありましたら、気軽に相談いただけたらと思います。

安心安全で笑顔あふれる真庭市を作っていくために、私たちも皆さんと一緒に頑張っていますので、これからもよろしくお願いします。

番組制作に 密着!!

1月に放送された3つの企画番組の取材に同行させていただき、担当のスタッフの皆さんに、どんなことに気を付けて取材しているのかなど聞きました。また、映像の編集、ニュースの収録現場にもお邪魔してお話を聞きました。



MITはスタッフそれぞれが取材・編集・収録・アナウンスができるような体制作りを行っています



中継車の中でカメラチェック



入念にミーティング



笑顔でインタビューするスタッフ



記念撮影風景も撮影

①企画番組『真庭市成人式生中継』



鈴木 健司(すずきけんじ)さん
「生中継は大変ですが、頑張ってお伝えしていきます」

密着(1月8日)

平成28年4月に導入された中継車によりMITでは、さまざまなイベントや行事などで生中継ができるようになりました。まずは、特別番組として初めて生中継した真庭市成人式の取材に同行しました。

「生中継は、環境や場所によって必要な準備を変えなければなりません。起こる可能性のある問題を事前に想定して、現地のスタッフ、局舎で映像を配信するスタッフが連携して、問題が起きないように繰り返しテストを行い本番に臨んでいきます」と鈴木さん。

会場にはスタッフ4人が開式の4時間前に集まり、3台のカメラのアンテナや進行、通信状況などについて入念に確認。式典が始まると鈴木さんが細かな指示を出しながら、約1時間の生中継が行われました。

(24ページから関連記事)



撮影前には入念に打ち合わせ



塩津さんへ音声マイクを装着



順調に進む取材



さまざまな場面を撮影

②企画番組『これが好き!!』



小柳 聡美 (こやなぎさとみ) さん
「市民の皆さんの魅力を伝えていきたいです」

密着 (1月11日)

次に同行したのは、市民の皆さんの素敵な趣味や熱中していることなどを紹介する企画番組『これが好き!!』の取材です。小柳さんとともに、総社市から真庭市皆部に移住され、ランプの販売や軽食が楽しめる、ランプ小屋「歩空」を営まれている、塩津和利さん(上皆部)を尋ねました。

「取材させていたただく方の好きなものや熱中していることの魅力が、視聴者の皆さんに伝わるように細かくお話を聞くようにしています。また、体験できることは、楽しさがしっかりと伝わるようにといつも心がけています」と小柳さん。

入念な打ち合わせの後、塩津さんにランプについての説明や移住されたきっかけを聞いたりしながら、終始和気あいあいとした雰囲気撮影が行われました。

③企画番組『シゴトバ』

密着 (1月13日)



菱川 陽平 (ひしかわようへい) さん
「市内の高校生の皆さんと協力した番組作りは楽しいです」



撮影前に入念に打ち合わせ



防塵服を取材陣は着用



製品の最終チェックをお手伝い



可児国博工場長とのやり取り

最後は、市内の企業や店舗を高校生リポーターが訪問して、仕事の面白さや難しさを伝える企画番組『シゴトバ』です。真庭市中原にあるプラスチック容器を製造している「エスアンドエスプロダクツ株式会社岡山工場」の取材に同行しました。

「取材先の魅力を伝えるためには、高校生にその取材先に興味を持ってカメラの前に立つてもらい、必要があります。これが結構大変です。緊張して口数が少ない高校生の一言を拾って、話を広げていくために、僕も事前に取材先のことをしっかりと勉強しています」と菱川さん。

今回は、真庭高校久世校地2年生の神谷希さんと赤木美優さんが生徒会の代表として出演。神谷さんがリポーター、赤木さんが神谷さんのサポート役で撮影が行われました。



撮影した映像を編集するスタッフ



森元 寛子 (もりもとひろこ)さん
「皆さんに雰囲気が伝わるような編集を行なっています」

編集作業

取材が終わるとMIT局舎で編集作業が行われます。まず、取材してきた内容を整理してナレーション原稿（アナウンサーが読む原稿）が作られます。

「原稿は、取材した映像をどのように組み合わせると5W1H（いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように）が効果的に伝わるのかを考えながら、また、視聴者にその場の雰囲気が伝わるように作っています。原稿は、耳で聞いて理解できる程度に簡単に、そしてテンポを大切に書いて書くように心がけています」と森元さん。

原稿が完成すると映像を編集します。アナウンサーが読むタイミングに合わせて余分な部分を切り取ったり、必要な映像を入れて全体の時間を調整して、最後に映像に合う音楽を入れて、一つの番組を作ります。



アナウンサーの読むタイミングなどを指示するスタッフ



蜂谷 恵加 (はちややすか)さん
安東 弘貴 (あんどうひろき)さん
「分かりやすいニュースをお伝えします」

番組収録

お邪魔したこの日のアナウンサーは蜂谷さんと安東さんが担当でした。

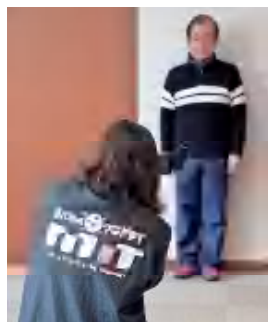
「MITの職員は全員がカメラマンで、全員がアナウンサーです。司会をしていなくても、ニュース映像のナレーションとして出演しているスタッフもいます。例えば夕方の「ほつ♡とまにちゃん」は基本的に6人で、1時間〜1時間半かけて収録しています」と安東さん。

「アナウンスは、読み方や発音など、正確でなければならぬので、複数のスタッフでチェックしています。また、著しい強弱は避けながらもメリハリをつけて読む。また、テレビは表情も伝わるため、楽しい内容は楽しく、元気な内容は元気に表情をつけて読んでいます」と蜂谷さん。

司会とその他のスタッフが連携しながら、番組収録は行われました。



写真撮影を行うスタッフ



真庭人の撮影

真庭市では事務の効率化やコスト削減、市民サービスの充実を図ることを目的として、2つの業務をMITに委託しています。市内のイベントや行事などの写真撮影と原稿作成を行なう「広報真庭の一部作成」、告知端末を通じて情報をお知らせする「行政情報告知放送」について紹介します。

テレビ以外のこんなこと やってるんです



広報真庭の一部作成

真庭市は昨年4月から、広報真庭の「読者の広場」や「まちの話題」など、広報真庭の一部の作成を（公財）真庭工スパス文化振興財団に委託しています。映像用のカメラと一緒に、一眼レフカメラを持

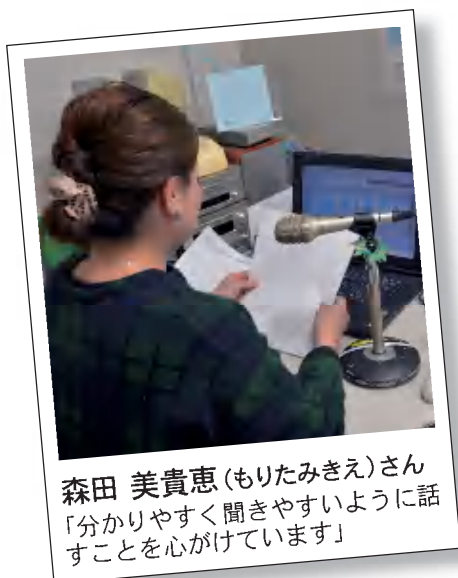
って取材しているMITのスタッフを見かけたことがある方もおられるのではないかと思います。これは広報真庭用の写真を撮影するためです。今後とも皆さん取材にご協力をお願いします。



田島 祐希（たしまゆうき）さん
河崎 真穂（かわさきまほ）さん
「広報真庭も読んでください」

行政情報告知放送

毎日、朝と夜の決まった時間に放送している「お知らせ放送」や亡くなられた方をお知らせする「お悔やみ放送」を放送しているのもMITです。放送するまでの流れは、まず市役所各課や関係団体などから届く放送依頼書をMITのスタッフが内容を確認しながら、市民の皆さんが聞いたときに分かりやすいように原稿を修正します。次に修正した原稿を秘書広報課で確認し、最後にMITのスタッフが、MIT局舎または真庭市



森田 美貴恵（もりたみきえ）さん
「分かりやすく聞きやすいように話すことを心がけています」

告知放送端末について、新しい機器の導入を検討しています。詳細が決まり次第、広報紙などでお知らせします。

役所にある放送設備で録音し、決まった時間に放送が流れるよう各地域ごとに設定しています。

〇〇から△△の
お知らせです



データ放送を 活用して いますか？

MITのデータ放送では、行政からのお知らせやイベント情報、市内各地の天気予報、ごみの収集日など、暮らしに欠かせない情報を、エリアごとに見ることができます。便利なデータ放送の使い方などについてあらためてお知らせします。



まずは「dボタン」をプッシュ!!



MITの番組を選局中に、テレビリモコンの「d(データ)ボタン」を押すと、通常の画面からデータ放送画面に切り替わります。

データ放送ってなに？

データ放送は、皆さんのご家庭にあるテレビのリモコンを操作することで、「欲しいとき」「欲しい情報」を入手することができ、サービースです。自分の住んでいる地域や学校など、あらかじめ登録した情報をテレビ画面で確認することができ、「インターネットのテレビ版」といったものです。

※登録した地域以外の視聴も可能です。

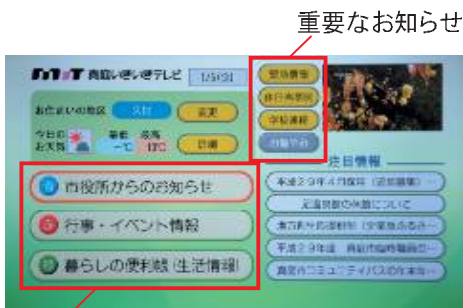
MITのデータ放送では、市民の皆さんに正確な情報をお届けするため、気象情報など一部の情報は専門業者から買い取ったものを使用してお知らせしています。

それでは、このデータ放送の利用方法を順を追って説明します。

リモコンのボタンだけで 行う簡単操作

MITのデータ放送では、掲載する情報を「重要なお知らせ」「市役所からののお知らせ」「行事・イベント情報」「暮らしの便利帳」の4つに分類しています。

「重要なお知らせ」については、最初の画面から目的の情報を選択し、一回ボタンを押



3つの項目

掲載情報はいつも 新鮮・迅速

掲載する情報は、真庭市のホームページと連動して更新されますので、いつでも最新の情報をご覧いただくことができます。また、緊急地震速報や気象観測データを自動受信して、気象情報や災害情報としてテレビ放送に表示させており、必要な情報を視聴者の方に迅速にお届けするようにしています。

すだけで見ることができるようになっています。

「市役所からののお知らせ」「行事・イベント情報」「暮らしの便利帳」の3つの項目は、リモコンの上下左右ボタンを操作して、目的の場所を選択するか、「青」「赤」「緑」ボタンを押して選択する方法があります。

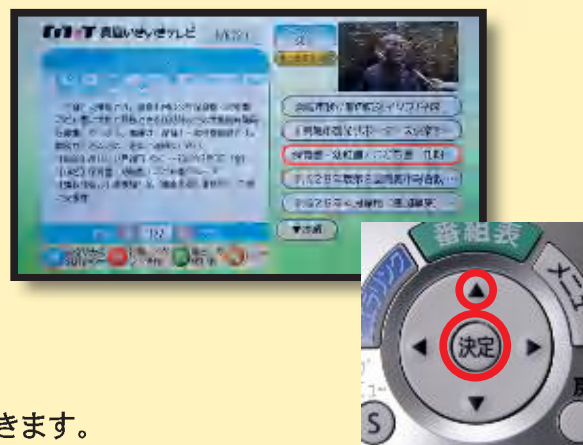


例…市役所からのお知らせを見る場合

①色ボタンを押して、目的の画面(ここでは青の市役所からのお知らせ画面)に切り替えます



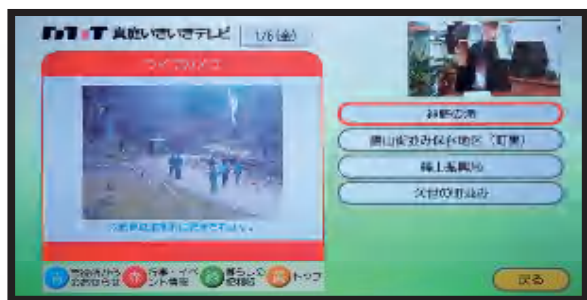
②上下左右ボタンを押して、赤枠を目的の場所に移動させ、決定ボタンを押してください。



③チャンネル番号を押すと、通常の画面に戻すことができます。

プチ活用例

神庭の滝にお猿さんが出ているかをライブカメラでチェック!そして、カメラを片手にお出かけはいかがですか?



データの分類と、掲載される主な情報

分類	主な情報
重要なお知らせ	緊急情報、休日当番医、学校連絡、お悔やみ放送
●ボタン 市役所からのお知らせ	防災情報、市からのお知らせ、TV局からのお知らせ
●ボタン 行事・イベント情報	行事・イベント、観光、ライブカメラ
●ボタン 暮らしの便利帳	天気予報、ごみ収集日程、行政・公共交通連絡先など

ケーブルテレビに加入するとできる こんなこと

サブチャンネル

真庭市議会、県議会の様子やMITの番組の再放送、市内の講演会、県内外のケーブルテレビ局制作番組などを放送しています。

お悔やみ放送

番組内で亡くなられた方の情報を放送しています。1時間ごとに繰り返し放送をしていますので、告知放送で聞き逃した場合でも確認することができます。

ラジオ放送

MITではFMラジオの再放送も行っています。FMラジオにテレビの宅内配線をつなげば、放送を聞くことができます。

問い合わせ先

報道制作課 (番組制作に関すること)

午前9時～午後6時 TEL0867-42-7205

保守管理課 (故障やトラブル、加入申し込みに関すること)

- ・午前9時～午後6時 TEL0867-42-7200
 - ・午後6時～翌日午前9時 TEL0800-200-8810 (行政サービス故障受付)
- (※対応が翌日になる場合もありますのでご了承ください)

